

部品の交換・購入について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換 (有料) してください。
- お買い求めの際には、製品の品番をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
(ホームページでのご購入は下記のおお客様ご相談窓口参照)

部品名 (P.1「各部のなまえ」参照)	部品番号
せんセット	S67-△△
弁セット	BB440K02L-00
下せんパッキン	BB440016M-00
ステンレスポトル用洗剤 ピカポトル(10g×4包入り)	SB-ZA01

△△ 表示は部品色柄記号です。
お求めの際は製品の色柄記号
までご指定願います。
(底面シールに表示)
<表示例>
SH-HB10-{:XA:} ←色柄記号

- せんセット・弁セット・下せんパッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。
- せんなどの樹脂は、食品衛生上安全な材料を使用していますが、ザラザラしてきたり、損傷してきた場合は新しい部品に交換 (有料) してください。
- 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後5年間です。
※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター



0120-345135

※携帯・PHSからもご利用になれます。

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

- 一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話でのお問い合わせ
.....TEL (06) 6356-2451 (有料)
- FAXでのお問い合わせ.....FAX (06) 6356-6143 (有料)
製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」
をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」の個人情報、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために、弊社グループ会社および協力会社との間で共同利用させていただきます場合がございますのでご了承願います。

ホームページのご案内

象印マホービン お客様サポートサイト <http://www.zojirushi.co.jp/toiawase/>

象印マホービン株式会社

SH-HB / SH-HC / D



家庭用

取扱説明書

ステンレスポトル
SH-HB / SH-HC 型

ご使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは大切に保管してください。

- ご使用ごとに各部品が取りつけられていることをご確認ください。

各部のなまえ



- お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

必ずお守りください

●ご使用になるときは、やけど・飲み物の変質・変色、製品の故障・汚れなどを防ぐために次のことを必ずお守りください。

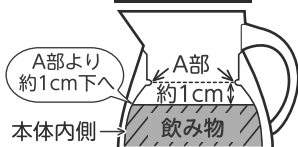
乳幼児の手の届くところには置かない。
また、いたずらには十分注意する
やけど・けがなど危険です。

ストーブやコンロなど火気の近くや
直射日光のあたる場所で使用しない
やけど・故障・変色の原因になります。

飲み物の量は図の位置までにする

入れすぎてせんセットを取りつけないと、飲み物
があふれる原因になります。また、あとから漏
れ出すことがあります。

飲み物の位置



お手入れの際は次のことを守る

- シンナーやベンジン・金属たわし・研磨剤入りたわし・みがき粉・クレンザー・メラミンスポンジなどは、使用しない
製品を損傷する原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しない
さび・穴あき(本体内側)など故障の原因になります。
- 煮沸はしない。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しない
傷・さび・変形など故障の原因になります。
- 丸洗いでできますが、つけ洗い(水中に放置)はしない

本体を傾けた状態や、注ぎ口に顔を近づけた状態でレバーを押さない
飲み物や、蒸気が急に出てやけどの恐れがあります。

車などに載せての移動はしない

やけど・汚れ・破損の原因になります。

保温性能が低下した製品は使用しない

熱い飲み物を入れると本体外側が熱くなり、
やけどの恐れがあります。

持ち運びの際には必ずハンドルを持つ

- 傾けたり横にして抱きかかえたりしない
やけど・汚れの原因になります。
- せんセットやレバーを持って運ばない
落とすと危険です。
- レバーを押した状態で持ち運ばない
飲み物が出て、やけど・衣服を汚す原因となります。

飲み物を入れたときは、横転させない。
また横置きにしない

レバーが上がっていても湯が漏れてやけど・
汚れの原因になります。

落としたり、ぶつけたり、製品に強い
衝撃を与えない

樹脂部分が破損したり、ステンレス表面がへこみ、
保温/保冷性能が低下することがあります。

直火(ガス台など)や電気ヒーター・IH調理器・
IHクッキングヒーターなどの上に載せない
火災・やけど・破損の原因になります。

せんセットを取りはずすときは、いったん
レバーを押して、蒸気を逃してから取り
はずしてください。

せんセットがはね上がったとき蒸気が勢いよく
出て、けが・やけどの恐れがあります。

飲み物の保温/保冷以外に使用しない

飲み物を入れての保温/保冷を目的とした
ものです。

せんセットを本体に取りつけたあと、
レバーを数回押して、下せんセットが
正しく取りつけられていることを確認
してください。

正しく取り付けられていないと飲み物が漏れ
てやけどや衣服を汚す原因になります。

全てのパッキンと弁は必ずつけた状態で
使用する

漏れてやけどなどの恐れがあります。
また汚れの原因になります。

飲み物はその日のうちに飲みきる

長時間放置した場合は、腐敗によりガスが発生し、
本体内の圧力が上がり、せんセットを
はずすときにせんセットがはね上がったり、
飲み物がふき出たり、せんセットなどが破損
して飛散することがあり危険です。

使用後はすぐにせんセット・弁・全ての
パッキン・本体内側をよく洗う

さび・穴あきなどの故障・腐敗の原因になり
ます。また放置しておく、カビ発生の原因
になります。

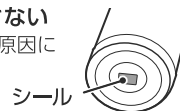
改造・分解修理はしない

故障・事故の原因になります。

本体外側の底に貼っている

シールは絶対にはがさない

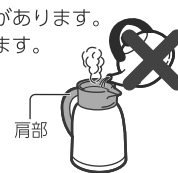
さび・穴あきなど故障の原因に
なります。



ご注意とお願い

熱いやかんを肩部に触れさせない

転倒してやけどなどの恐れがあります。
また傷・変形の原因になります。



洗浄したせんセットに、水が残らないよう
よく振り、十分ふき取る

残ったしずくが漏れてくる可能性があります。

熱いお茶を入れて長時間保温した場合、
お茶の色が変わることがあります。
本体にはお湯を入れ、お茶のときは急須や
ティーバッグのご利用をおすすめします。

せんセットは確実に閉める

せんセットが落下して飲み物がこぼれたり、
やけどの恐れがあります。

次の物は絶対に入れない

●ドライアイス・炭酸飲料など

本体内の圧力が上がり、せんセットがはね上が
ったり、飲み物がふき出たり、せんセットなど
が破損して飛散する原因になります。

●牛乳・乳飲料・果汁など

成分が腐敗することがあります。そのまま長く
放置した場合は腐敗によりガスが発生し、本
体内の圧力が上がり、飲み物がふき出るなど
の原因になります。

●みそ汁・スープ・昆布茶など、塩分を多く含
んだもの

本体内側は、18-8ステンレスを使用しており
ますが、さびたり、保温/保冷性能がなくなる
原因になります。

●果肉・お茶の葉など

詰まる・漏れるなど故障の原因になります。

氷が大きくて入らない場合は、あらかじめ
小さく砕いてから入れる

無理やり押し込んだり、たたいたりすると、
変形し、故障の原因になります。

本体の絵柄をつめや固いものでひっかき
たり、こすったりしない

はがれる原因になります。

缶やびんなどを本体に入れない

傷・変形・故障の原因になります。

熱い飲み物を保温しているときに、本体
内の圧力が上がりせんセットから蒸気が
わずかに漏れ、音が鳴ることがありま
す。音が鳴りやまないときは、レバーを
押して蒸気を逃がすと音が止まります。
安全のため、圧力を抜いている音ですので、
異常ではありません。

使い方 ●ご使用前にせんセット・本体内側をぬるま湯で十分洗ってください。

- 使いはじめはプラスチックなどのおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。
- せんセットの部品が全て正しく取り付けられていることを確認の上、ご使用ください。飲み物が漏れる原因になります。(P.8~9「せんセットの組み立て方法」参照)
- 持ち運びの際には本体を立てて運んでください。



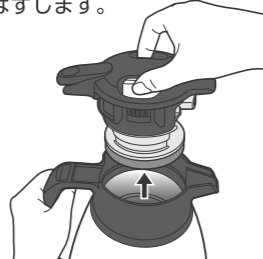
本体内の圧力の上昇を防ぐために、せんセットにわずかなすき間を設けています。そのためレバーを押していても傾けたときに飲み物が注ぎ口から漏れることがあります。ご注意ください。

1 せんセットをはずす

①ハンドルに手を添え、「せん開閉つまみ」をつまみます。



②そのまま引き上げ、せんセットをはずします。



2 飲み物を入れ、せんセットを取りつける

せんセットの中央を真下に押し込みます。

- 両側のせん開閉つまみが「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。

【ご注意】

必ずせんセット中央を押し込んでください。せんセットの外周部に手や指が触れていると本体とのすき間に手や指を挟み、けがなどの恐れがあります。



飲み物の位置



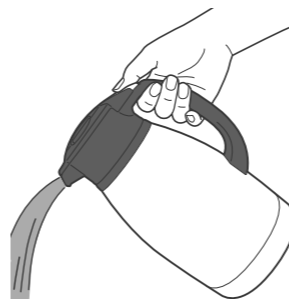
あらかじめ本体内側に熱湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)すると保温(保冷)により効果的です。

3 飲み物を注ぐ

①ハンドルを持ち、本体をまっすぐに立てた状態でレバーを押します。



②レバーを押したまま、ゆっくりと本体を傾けて飲み物を注ぎます。

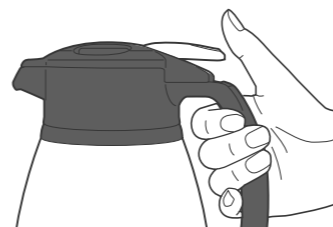


4 注いだあと

①レバーを押したまま、本体をまっすぐに立てた状態に戻します。

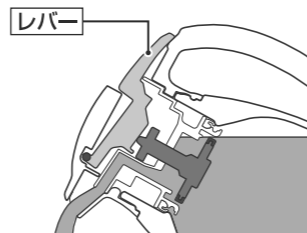


②レバーを離します。



ご注意

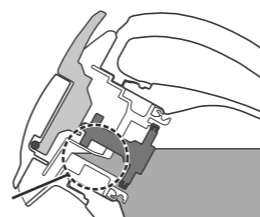
本体を傾けた状態でレバーを離すとせんセット内に飲み物が残り、使用中に漏れてやけどやものを汚す原因になります。



傾けたまま
レバーを離す



せんセット内に
飲み物が残る



お手入れ

- においや汚れの付着、カビ発生を防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

- 必ず分解してからお手入れをしてください。(P.7~8参照)

本体外側 せんセット

- ①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗う
 - ②すすぎ洗いの後、数回振り、水分をふき取って乾燥させる
- せんセットは全て分解した状態で下せんパッキンと弁パッキンはずしてから洗浄・乾燥させてください。(分解方法はP.7「せんセットの分解方法」を参照)
 - 洗にくい部分は市販の小型ブラシなどで洗ってください。

本体内側

- ①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を、柄(え)のついた柔らかいスポンジブラシなどに含ませて洗う
- ②すすぎ洗いの後、水気が残らないように乾燥させる

お手入れ時の注意

- 煮沸はしないでください。また、食器洗い乾燥機・食器乾燥器などは使用しないでください。
- シンナーやベンジン・金属たわし・研磨剤入りたわし・みがき粉・クレンザー・メラミンスポンジなどは、使用しないでください。製品を損傷する原因になります。
- 塩素系漂白剤を使用しないでください。また、本体外側は塩素系以外の漂白剤でも塗装・印刷・シールのはがれる原因になるため使用しないでください。
- 本体は丸洗いできますが、つけ洗い(水中に放置)はしないでください。
- 長期間ご使用にならない場合は、ぬるま湯で十分洗い、よく乾燥させて高温・多湿を避け保管してください。製品を損傷する原因になります。

赤さび状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内側に赤さび状の斑点が出たり水アカが付着することがあります。このような場合は、食酢を約10%加えた湯を入れ、せんセットを取りつけずに30分~1時間置いたあと、本体内側をよく洗ってください。(上記「お手入れ」参照)

茶しぶなどのお手入れ

- 本体内側・せんセットにこびりついた茶しぶなどの汚れには「象印ステンレスボトル用洗浄剤『ピカボトル』」をご利用ください。(別売品)
- ピカボトルを使用する場合は、せんセットを本体からはずしてください。

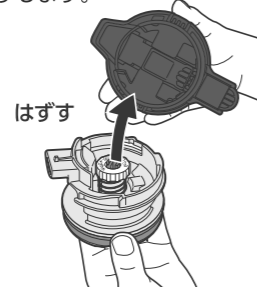
せんセットの分解方法

1 上せんセットをはずす

①上せんセットを持ち、下せんセットを矢印の方向に回します。



②上せんセットを持ち上げ、取りはずします。



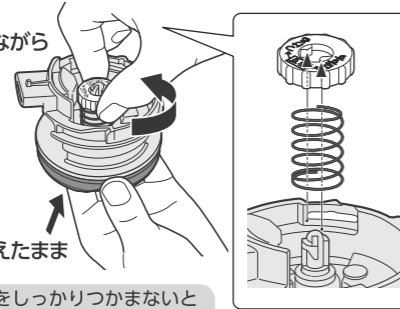
2 スプリング押さえを取りはずす

①弁セットの底を動かないように指でしっかりと押さえておきます。

②スプリング押さえをしっかりとつかみ、押し込みながら矢印の方向に90度に回し、スプリング押さえとスプリングをはずします。



押し込みながら回す

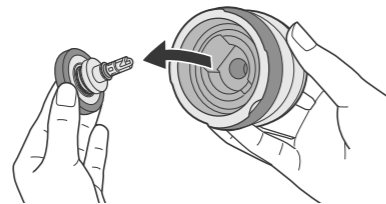


指で押さえたまま

●スプリング押さえをしっかりとつかまないとスプリングが飛び出してくる場合があるのでご注意ください。

3 弁セットを取りはずす

弁セットを下から引いて取りはずします。

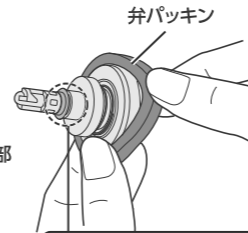
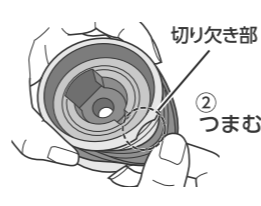


4 下せんパッキンと弁パッキンを取りはずす

①下せんパッキンをつまみ、切り欠き部の下せんパッキンをあまらせます。



②切り欠き部の下せんパッキンをつまみ、下せんパッキンを取りはずします。



※弁セットの小さい方のパッキンは取りはずさないでください。

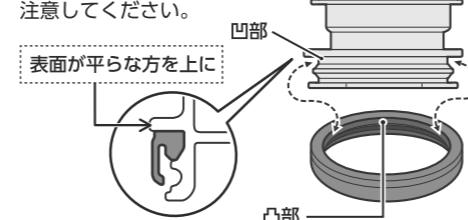
せんセットの組立方法

1 パッキンを取りつける

下せんパッキン

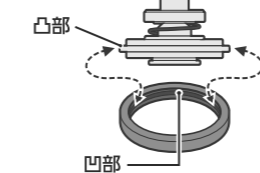
上下を間違えないように注意してください。

表面が平らな方を上に



弁パッキン

上下の違いはありません。



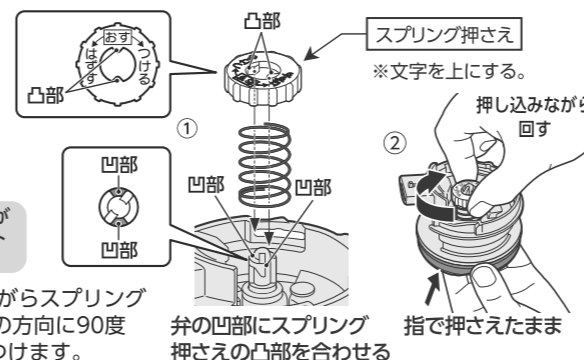
●取りつけたあと、外側から中心へ向かって指で押さえてください。(作動不良・飲み物が漏れる原因になります。)

2 弁セットを取りつける

①弁セットを下せんに差し込み、スプリング、スプリング押さえの順にセットします。

※スプリング押さえは文字が必ず上になるようにセットしてください。

②弁セットの底を押さえながらスプリング押さえを押し込み、矢印の方向に90度まわし、弁セットに取りつけます。



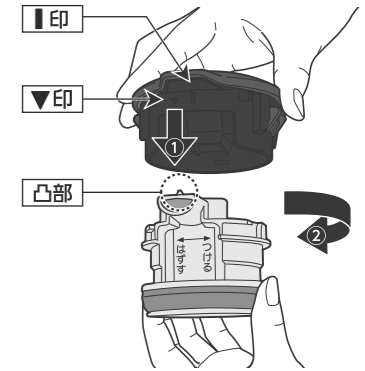
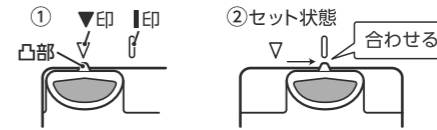
弁の凹部にスプリング押さえの凸部を合わせる

せんセットの組立方法 つづき

3 上せんセットを取りつける

①上せんセットの▼印と下せんセットの凸部を合わせてはめます。

②下せんセットを矢印の方向に回し、I印と下せんセットの凸部を合わせます。



故障かなと思ったとき

症状	原因	処置
せんセットから飲み物が漏れる	せんセット・弁セット・下せんパッキン・弁パッキンが正しく、しっかり取り付けられていますか?	パッキンの取り付け位置や方向、浮きがないことを確認してください。(P.8、9「せんセットの組立方法」参照)
	せんセット・弁セット・下せんパッキン・弁パッキンが汚れていませんか?	お手入れ方法を参考にし、お手入れしてください。(P.6「せんセット」参照)
	飲み物を入れすぎていませんか?	少量の飲み物を捨て、正しい量にしてください。(P.2「飲み物の位置」参照)
飲み物(本体内部・せんセット)がにおう	せんセット内部に飲み物が残っていませんか?	本体をまっすぐに立てた状態でレバーを離してください。(P.5「4注いだあと」参照)
	飲み物を長時間入れたままにしたり、本体内部・せんセット・弁セットやパッキン類に茶しぶなどの汚れが付着していませんか?	お手入れ方法を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はジカボトルをご利用ください。(P.6「茶しぶなどのお手入れ」参照)
保温(保冷)が効かない	十分に熱い(冷たい)飲み物を入れていませんか?	十分に熱い(冷たい)飲み物を正しい位置まで入れてください。予熱(予冷)をするとより効果的です。(P.4「飲み物の位置」参照)
製品を振るとシャカシャカという音がする	保温/保冷効果を高めるために、本体内部に入れている金属箔がこすれて出る音です。異常ではありません。	